

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 日本の在留外国人における精神科的治療の中断に関連する因子とナショナルデータとの比較』

研究機関名 東邦大学医学部 社会実装精神医学講座

研究責任者 精神神経科 職位・氏名 教授・根本隆洋

【研究の対象】

2016年4月～2019年3月までに東邦大学医療センター大森病院精神神経科、済生会横浜市東部病院精神科、川崎市立川崎病院精神科において、精神科の外来及び入院治療を受けた外国人患者の方（および未成年の場合は親権者あるいは未成年後見人の方）へ

【研究の目的】

日本における在留外国人は増加傾向にあり、法務省の統計によると250万人を超えています。在留外国人の半数は20代から30代で、この世代はさまざまな精神疾患の影響を受けやすい年齢と重なっています。言語的な問題による治療の遅れや、支援資源利用率の低さが問題として指摘されています。

この研究は、東邦大学医学部倫理委員会（承認番号 A19058）の承認を得て実施され、保管されていた研究データを、再度東邦大学医学部倫理委員会の承認を得て再解析されるものです。在留外国人の精神科的治療の中断に関連する要因を明らかにすることを目的として本研究を計画しました。この研究で得られる成果は、在留外国人の医療機関へのアクセスでの問題点が浮き彫りになり、外国人受療に関わる地域包括ケアシステムの発展につながります。

【研究に用いられる試料・情報】

患者情報（年齢・性別・診断など）、使用可能言語、医療通訳利用の有無、受診経路と転帰（外来通院状況・通院中断の有無や通院中断に至るまでの受診回数など）

【研究組織】

代表施設：

東邦大学医学部社会実装精神医学講座 精神神経科 研究代表医師：根本隆洋 役職：教授

東邦大学医療センター大森病院精神神経科 分担医師：Janice Tsoh 役職：訪問教授

東邦大学医療センター大森病院精神神経科 分担医師：田久保陽司 役職：院内助教

研究協力施設： 済生会横浜市東部病院精神科 分担医師：辻野尚久 役職：部長

研究協力施設： 川崎市立川崎病院精神科 分担医師：齋藤寿昭 役職：部長

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

川崎市立川崎病院

職位・氏名 精神科部長・齋藤寿昭

電話 044-233-5521